

令和3年度第2回青森市健康福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議概要

1 開催日

令和3年10月18日（月）

※本審議会は、新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、書面をもって開催することとしたため、意見等回答書の提出をもって出席とする。

2 開催方法

書面開催

3 意見等回答書の提出委員数

7名

出席委員数が半数以上のため、青森市健康福祉審議会条例第7条第2項に基づき、分科会の会議は成立した。

4 報告案件

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第7期計画の進捗状況について

意見あり 3 意見なし 4

5 意見等及び回答

別紙のとおり

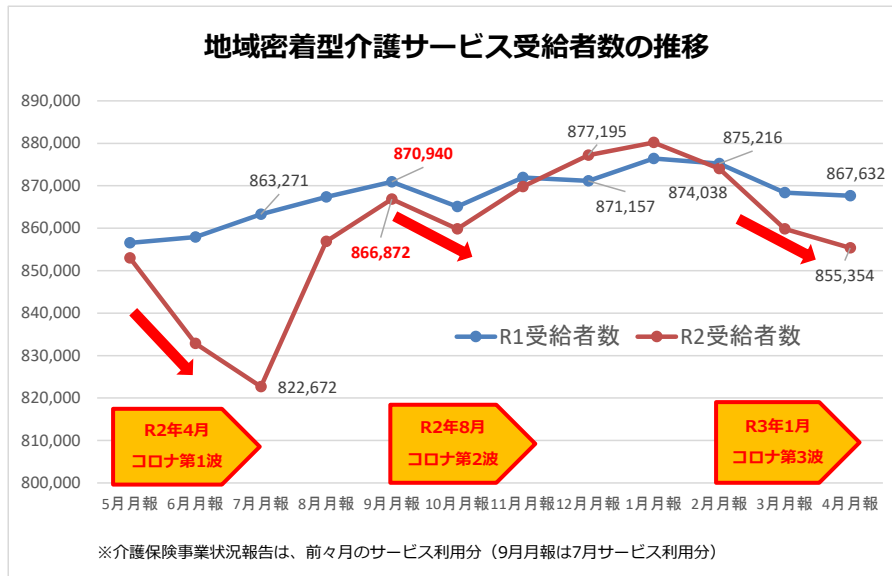
令和3年度第2回青森市健康福祉審議会 高齢者福祉専門分科会（書面開催）
「令和2年度の介護保険事業の状況について」
意見等と回答について

No.	項目（記載ページ）	意見等	回答
1	<p>1 2 人口及び第1号被保険者数の推移</p> <p>要介護（要支援）認定者の状況</p> <p>2ページ ○青森市の第1号被保険者数の推移 【参考】全国、青森県、弘前市、八戸市の第1号被保険者数等の推移</p> <p>3、4ページ (1) 要介護（要支援）認定者数及び認定率の推移（第1号被保険者）</p> <p>5ページ (2) 要介護（要支援）認定者の構成（令和2年9月末実績）</p> <p>9ページ (3) 新規要介護（要支援）認定者の状況 要介護認定者構成</p>	<p>全国・県・他市との比較が記述されていますが、その分析と今後の施策の記載があれば、もっといいのではないかと思います。</p>	<p>当該報告資料については、介護保険事業計画に記載した要介護認定者数や介護サービス量などの見込みと実績との乖離状況を把握し、他都市との比較を通して、本市の状況分析を行うとともに、計画に基づく各種取組みや目標の達成度を継続的に自己評価するための基礎資料となるものです。</p> <p>これまで、当該報告資料は計画に基づく各種取組みの進捗管理を行う際の基礎資料として活用してきたところですが、その分析をより深め、課題を見出すとともに、計画に基づく取組みや施策の改善に活かせるよう努めてまいります。</p>
2	<p>2 要介護（要支援）認定者の状況</p> <p>9ページ (3) 新規要介護（要支援）認定者の状況 要介護認定者構成</p>	<p>青森市の状況を全国、青森県、弘前市、八戸市と数字を比較しているだけである。評価もするべきである。課題を見出し対策する必要がある。</p> <p>・新規認定者の要介護度別の割合は、要介護1が26.3%、次いで要支援1が23.5%となっており全国、青森県、弘前市及び八戸市もこれらの割合が高くなっている。 ⇒新規認定者の要介護1の割合が高い。いきなり状況悪化しているということ。元気高齢者、要支援1、要支援2と維持改善維持改善を繰り返し徐々に要介護度が上がっていくのが理想。これを実現するため高齢者のフレイル状態の早期把握・対応する必要がある。</p>	<p>当該報告資料については、介護保険事業計画に記載した要介護認定者数や介護サービス量などの見込みと実績との乖離状況を把握し、他都市との比較を通して、本市の状況分析を行うとともに、計画に基づく各種取組みや目標の達成度を継続的に自己評価するための基礎資料となるものです。</p> <p>これまで、当該報告資料は計画に基づく各種取組みの進捗管理を行う際の基礎資料として活用してきたところですが、その分析をより深め、課題を見出すとともに、計画に基づく取組みや施策の改善に活かせるよう努めてまいります。</p> <p>また、高齢者のフレイル状態の早期把握・対応については、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に進める中で、低栄養防止や生活習慣病の重症化予防等の保健指導、健康状態不明者の状態把握などに取り組んでいるところです。</p>

No.	項目（記載ページ）		意見等	回答
3		<p>13ページ (2) 地域密着型介護（介護予防）サービス受給者数</p>	<p>青森県内は受給者数が増加しているのに対し、全国では令和2年度マイナス（-4,068人）となっている背景が何かわかれば教えていただきたい。</p>	<p>サービス別に見ると、全国では地域密着型通所介護サービスの受給者数が、令和2年度に大きくマイナスとなっています。 このことは、コロナ禍における地域密着型通所介護サービスの利用控えの影響が、全国では大きかったものと考えられます。</p> <p style="text-align: right;">【別紙資料1】</p>
4	<p>3 サービスの利用状況</p>	<p>17ページ (4) サービス種類別の給付月額（令和2年度）</p>	<p>青森市の状況を全国、青森県、弘前市、八戸市と数字を比較しているだけである。評価もするべきである。課題を見出し対策する必要がある。 ・訪問介護の給付月額は6,415円で、全国、青森県、弘前市及び八戸市よりも高い状況である（本市は全国の約3.2倍）。 ⇒全国の3倍の原因が何なのかを教えてください。 コロナ禍で通所介護から訪問介護に切り替えたのか。 ケアプラン個別点検で本当に必要なサービス提供量かの検証が必要。 ・通所介護の給付月額は1,801円で、全国、青森県、弘前市、及び八戸市よりも低い状況である（本市は全国の約0.7倍）。 ⇒コロナ禍で利用率が低かっただけと考えられる。P19の表から見て取れる。</p>	<p>青森市では、令和2年度に入って、通所介護サービスの受給者数は減少していますが、訪問介護サービスの給付月額が全国の約3倍となっている状況は、コロナ禍以前から見られる傾向です。 その原因としては、有料老人ホームの入居者などの訪問介護サービスのニーズが高いことに加え、全国と比較して、受給者一人当たりの月平均利用回数が多い状況にあることが考えられます。 このことから、ケアプラン点検やケアプラン検証会議において、多職種協働により利用者が真に必要なサービス提供量かの検証をしてまいります。</p>

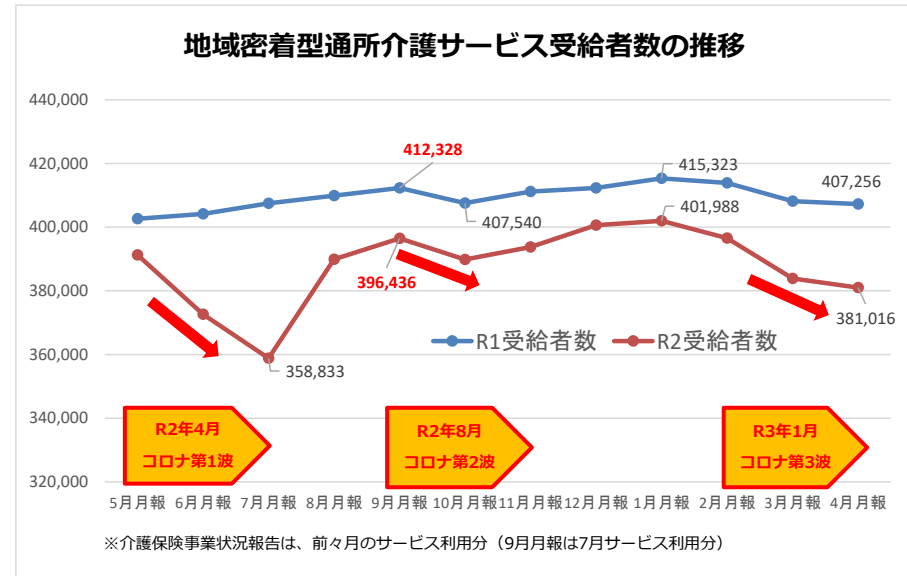
No.	項目（記載ページ）		意見等	回答
5	4 第7期介護保険事業計画と実績の比較	20ページ (1) 保険給付費・地域支援事業費 (2) 地域密着型介護（介護予防）サービス	定期巡回や小多機、看多機の整備が計画どおりに進まなかったとされる背景や、それに伴う今後の対策があれば教えていただきたい。	定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護の整備が計画どおりに進まなかったのは、応募が少なかったためです。その理由については、令和元年度に実施した公募説明会のアンケート調査の結果では、応募に当たっての課題として、施設整備にかかる場所の確保や資金調達、人材（要資格者）の確保などがあり、これらが応募の支障となっているものと考えられます。 今後の対策については、引き続き施設整備等に係る経費の一部を支援するほか、国・県・関係団体等と連携し、介護分野の求人情報及び資格取得・研修情報等の情報を市ホームページや広報あおもりに掲載し、介護人材の確保に努めてまいります。
6	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉行政で一番懸念されるのは、「孤独死」ではないでしょうか。どんどん人口は減り空家が増えていきます。そんな状況が増えていく時、一番身近にあるのは地域社会です。その中核となるのは、町内会です。会費はもらう、事業はやらない。行政が総合力を発揮して、問題解決に当たってほしいものです。 ・9月1ヶ月間、公共施設使用を禁じたことで、どんなに老人たちがつらい思いをしたことか。認知症が増えるのは当然です。 	

全国の地域密着型介護サービス及び地域密着型通所介護サービス受給者数の比較（令和元年度～令和2年度）



○地域密着型介護サービス受給者数の推移（令和元年度～令和2年度）

全国	R1受給者数	R2受給者数	増減	備考
5月月報	856,551	853,023	-3,528	
6月月報	857,935	832,865	-25,070	
7月月報	863,271	822,672	-40,599	
8月月報	867,352	856,897	-10,455	
9月月報	870,940	866,872	-4,068	
10月月報	865,117	859,817	-5,300	
11月月報	871,939	869,778	-2,161	
12月月報	871,157	877,195	6,038	
1月月報	876,429	880,185	3,756	
2月月報	875,216	874,038	-1,178	
3月月報	868,391	859,844	-8,547	
4月月報	867,632	855,354	-12,278	



○地域密着型通所介護サービス受給者数の推移（令和元年度～令和2年度）

全国	R1受給者数	R2受給者数	増減	備考
5月月報	402,631	391,284	-11,347	
6月月報	404,184	372,626	-31,558	
7月月報	407,502	358,833	-48,669	
8月月報	409,927	389,878	-20,049	
9月月報	412,328	396,436	-15,892	
10月月報	407,540	389,805	-17,735	
11月月報	411,210	393,734	-17,476	
12月月報	412,307	400,603	-11,704	
1月月報	415,323	401,988	-13,335	
2月月報	413,917	396,526	-17,391	
3月月報	408,185	383,891	-24,294	
4月月報	407,256	381,016	-26,240	

○全国の地域密着型通所介護サービスの受給者数はコロナの流行時期に減少しているが、サービス別に見ると、地域密着型通所介護サービスの受給者数が大きく減少している。